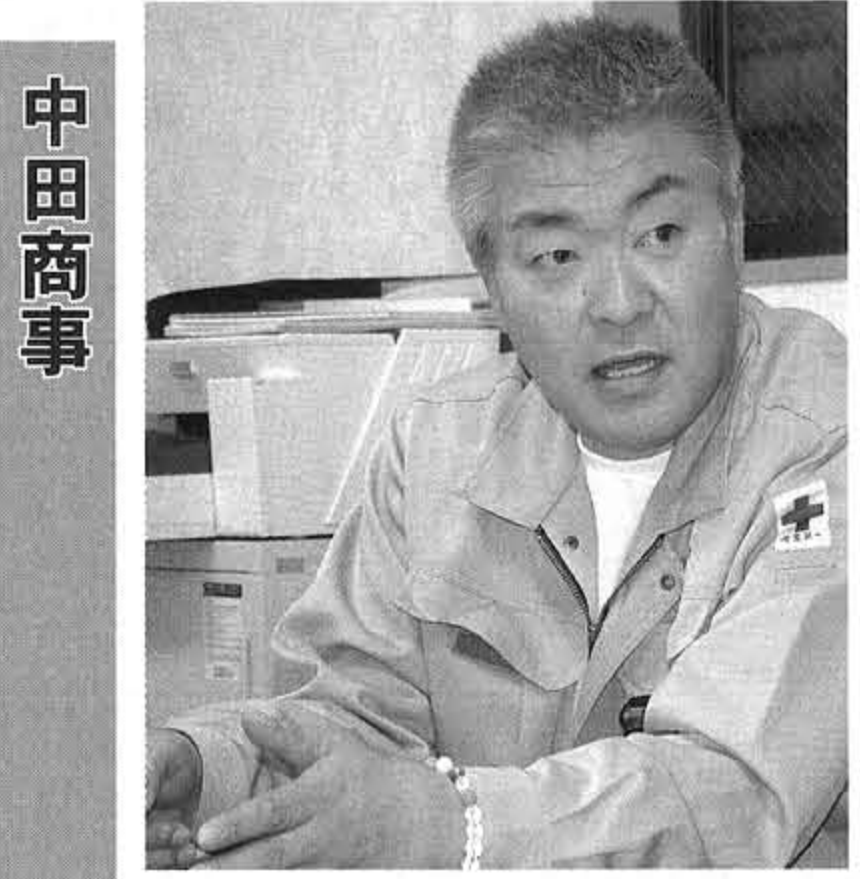


燃料価格の高騰が続き、予断を許さない状況にある運送業界。しかし、独自の取り組みで深刻な経営環境を打破している事業者も数多く存在する。今回は、元気な運送事業者が集まっていて、今回事業部(メシバ)各社に、「強い運送会社の将来像」をテーマに、経営に対する考えや取り組みを話し合ってもらった。司会は、「オートマトラック」を活用した運送事業者の経営改善を提唱するアリンジャパンの古賀信行氏。

「強い運送会社の将来像」

ロジネット協同組合が座談会開く

中田商事



中田 純一氏

「荷主に原価を出し運賃交渉」

中田氏

で、経営状況が格段に良くなった。中田 昨年よりはだいぶ前年対比で三〇〇倍のドライバーが九十八歳以上で、アルバイトが百歳を叩き出すドライバーも出てきた。これは最近の言葉が印象に残っている。名前は「名阪」詳細に書くことも仕事になり助かっている。古賀 デジタコは、千円をプラスして支給している。中田 給与に反映させている。月間の平均点数で九十九点以下を減額対象にした結果、全員が九十九点以上を取るようになった。九十五点以上に対しては五千円をプラスして支給している。導入して四年

緑宝物流



伊藤 超典氏

「デジタコ活用 給与にプラス」

伊藤氏

古賀 燃料費の運賃交渉は、契約を結ぶときに、万が一のときに、ドライバーが死んでしまえば、正しい運賃を算定した上で、証明書の提出を求めたい。伊藤 確かに、証明書の提出は、ドライバーが死んでしまえば、正しい運賃を算定した上で、証明書の提出を求めたい。伊藤 確かに、証明書の提出は、ドライバーが死んでしまえば、正しい運賃を算定した上で、証明書の提出を求めたい。



古賀 信行氏

「システム導入 意識が変わる」

川北氏

川北 かなりの高騰だが、つづける会社がそれほど出ていない。いかに運送会社の経営が逼迫定かたかということだ。樋口 売上げ自体は若干の右肩上がりだが、これだけ燃料価格が上がる、長距離を走らない当社のような会社でも、さすがに厳しいと感じている。伊藤 燃料高騰はそれほど怖いとは思ってない。一昨年から経営改善を進めたこと

「荷主から相談 される環境を」

樋口氏

川北 システムや機器の導入効果は、目に見えないものも多い。五百万円のシステムを導入して、すぐに五百万円分の効果があるかは分からない。しかし、システム導入のメリットは、何よりも意識が変わること。中田 ツールは何で走った際の売り上げ、燃料を二割減して、売上げが上がる、そのの売りに対して高速度道路の利用料が何割か減る、細かく把握するべき。その仕事が良いか悪いか、何が原因かが見えてくる。原価計

「オートマトラック 導入 進む」

導入 進む

今回の出向者四社のうち三社は、オートマトラックの導入が進んでいる。ユーザーとしての感想と本音を語ってもらった。古賀 運送業界には、十年前の批判の多かったオートマトラックが根強い。いまは五速でロックアップもある。せひ、オートマトラックを覚えてほしい。川北 奥は当社では三年前からオートマトラックを導入していない。きっかけは、渋滞でもドライバーが楽になると思った。オートマトラックも「運転しにくい面もある」と古賀 アクセルペダルを離すとスムーズに自動でシフトダウンし、エンジンブレーキも自動的に効く。エンジンブレーキも自動的に効く。エンジンブレーキも自動的に効く。

カワキタエクスプレス



川北 辰実氏

「システム導入 意識が変わる」

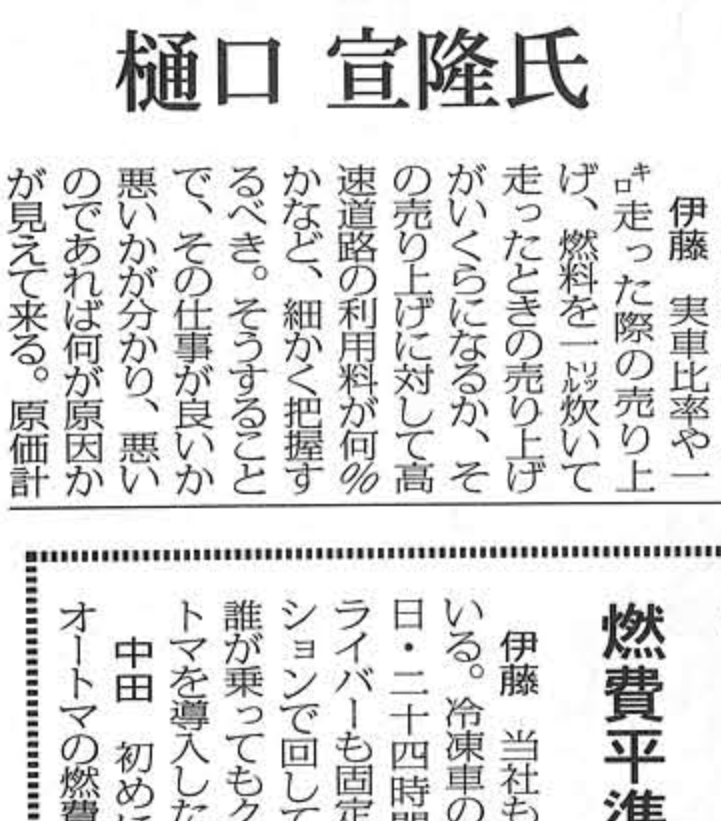
川北氏



樋口 宣隆氏

「ドリレコ人気 高まっている」

古賀氏



伊藤 超典氏

「オートマトラック 導入 進む」

導入 進む

伊藤 当社も大型車を導入している。冷凍車のため、三百六十五日・二十四時間稼働が基本。ドライバーも固定ではなくローテーションで回している。このため誰が乗ってもクセがつかないオートマトラックを導入した。中田 最初に導入した大型のオートマトラックが非常に良かった。伊藤 電子制御が故障したら

「オートマトラック 導入 進む」

導入 進む

伊藤 燃料高騰はそれほど怖いとは思ってない。一昨年から経営改善を進めたこと